

ベストマッチ[®] 夏秋ナス用801

18-10-11-Mg1

化成肥料と4種類の被覆肥料を配合し、4～5月に定植する夏秋ナスの生育に好適となるように設計された、露地栽培の夏秋ナス用肥料です。

N	窒素（化成）	0.6 Kg
	窒素（被覆）	3.0 Kg
P	りん酸（化成＋被覆）	2.0 Kg
K	加里（化成＋被覆）	2.2 Kg
Mg	苦土（化成＋被覆）	0.2 Kg

特長

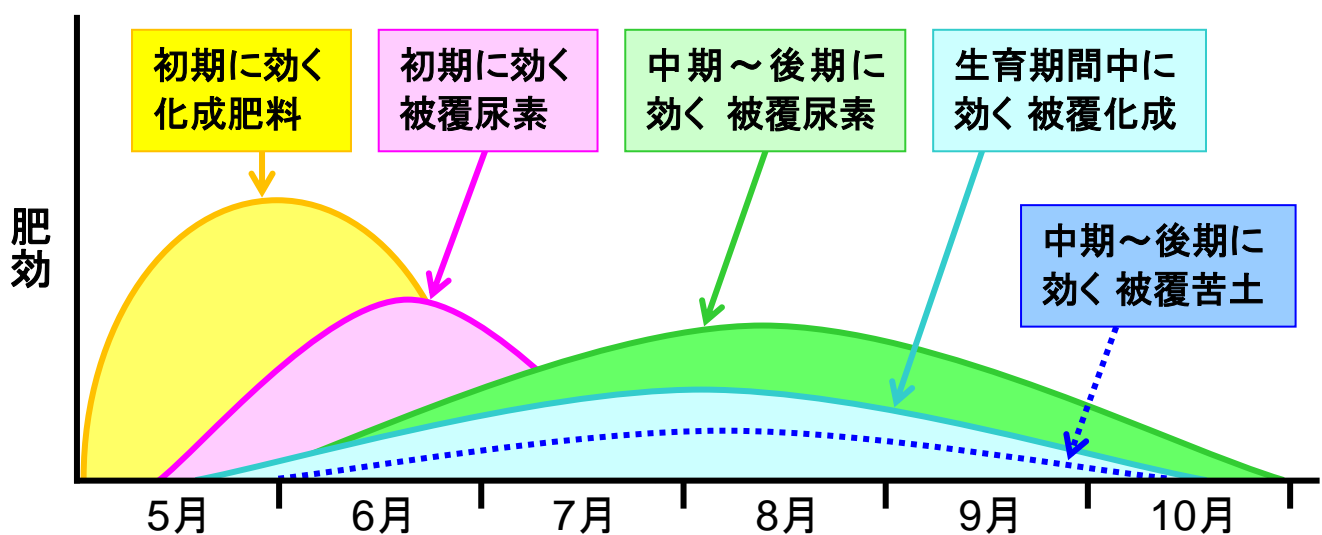
（1袋20kgあたり）

露地栽培の夏秋ナス用に設計した肥料です

露地栽培の夏秋ナスは、定植直後のまだ気温の低い時期から肥料を十分に効かせ、収穫時期まで肥料を切らさないことが必要です。4～5月に定植し、9～10月まで栽培するナス用に、初期生育に必要な化成肥料と、初期～後期に必要な4種類の被覆肥料を配合しました。

窒素、りん酸、加里以外に苦土も被覆して配合しており、生育後半まで実の肥大、葉色の維持に効果が続きます。元肥として1回施用するだけで、生育期間中、穏やかに切れ目なく肥効が持続しますので、安定してナスの収穫ができます。

ベストマッチ夏秋ナス用801の肥効イメージ(5月初旬施用の場合)



施用量・施用方法

施用量は地域・品種により異なりますが、5月中旬定植で、10月中旬まで収穫する栽培体系では260～320kg/10a(窒素成分量で46.8～57.6kg/10a)が標準です。堆肥・苦土石灰などの土壌改良材を通常通り施用した後、全量を混層施用してください。